

# 幸手ロータリークラブ

RI テーマ

「よいことのために手を取りあおう」 UNITE FOR GOOD

会長 谷野友昭 幹事 深作昭美 事務所・例会場：埼玉県幸手市中 3-3-4 埼玉りそな銀行幸手支店 3F  
TEL0480-43-8655 FAX0480-43-8646 例会日：水曜日 12：30～13：30

## 第 2719 回 2026.4.15

ビジター紹介	1. 子育て支援ねっとわーく	小川 万里子 様
	2. "	横山 明子 様
	3. "	立花 美香 様



子育て支援ねっとわーくの皆様



R財団特別寄付バッチ授与 近藤義一会員

## 会長挨拶 谷野友昭会長

皆様こんにちは。本日は子育て支援ねっとわーくの小川様、横山様、立花様ようこそ幸手 RC にお越しくださいました。

この後、幸手市の子育て事情についてお話をいただく予定です。どうぞよろしくお願いたします。

さて、子育て支援ねっとわーく様におかれましては昨年実施した子育て支援事業を思い出します。

その節は大変お世話になりありがとうございました。実は事業を通しショックを受けた事がありました。

それは参加者が予想以上に多かったという事を目の当たりにしました。

そして幸手団地には外国人も増えているという事も聞いています。生まれ育った文化、教育、道徳が違った人たちと今後は多文化共生ということで色々なしがらみが発生することが予想されます。

そういった部分も含めてお話を伺えればと思います。

また小川さんはロータリアンである旦那さんと共に活動されていてうらやましくも感じます。

今後も夫婦仲良く活動されていてください。昨晩は幸手中央 RC でワイン例会が開催されました。

ワインについての見識が深まったと思います。参加された方々はお疲れ様でした。

それではこの後、子育て支援ねっとわーく様の卓話をお聞きしたいと思います。

それでは本日もよろしくお願いたします。

## 幹事報告 深作昭美幹事

議 題	内 容
三枝ガバナーエレクトからの依頼	クラブのR 財団寄付状況を5月30日までに報告
次年度委員長会議について	5月11日(月) 18:30 開始 大村庵 登録料 6,000円
熊本雄太郎ガバナーと1000日会員の集い	5月20日(水) オネスト北戸田 18:30 開会 参加費 6,000円 近藤会員参加
パスト会長会議	5月26日(火) 18:30 宝家 登録料 8,000円
アイメイトゴルフ大会について	参加御礼
クラブ旗について	地区の指導により新調することにしました。
次回例会プログラムについて	4月22日(水) 山本会長エレクト 次年度方針発表
4月ロータリーレート	1ドル 160円

## ニコニコBOX

本日子育て支援ねっとわーく小川様、横山様、立花様ようこそ。

谷野会長・深作幹事・山本会員・関会員・柳沼会員・近藤会員・小川会員・益山会員・小松原会員

### ニコニコBOX・財団BOX

	合 計	累 計
ニコニコBOX	13,000	488,256
ビジターフィー	0	0

### 本日の出席者数

会員数	出席者数
16名	出席者 12名

## 卓 話

### 幸手子育てねっとわーく代表の小川万里子 様

日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

いつも助成金をいただく際には、ねっとわーくの活動や近況をご報告させていただいておりますので、本日は、会員を2名ご紹介させていただきたく、同席してもらいました。

子育て、家事、仕事、そして地域貢献をバランスよく実践している2人です。お楽しみに

#### ●私の自己紹介

私が幸手子育て支援ねっとわーくに関わるようになったきっかけは、今から16年前、幸手に引っ越してきたことでした。自宅でママサロンを始めて半年ほど経った頃、「子育て応援まつり」に参加してほしいとお声がけをいただき、参加したことが始まりです。その後、定例会議にも時折参加するようになり、まつりの飾り付け担当、司会担当、そして実行委員長と役割を担うようになりました。当初は受け身での参加でしたが、次第

に主体的に関わるようになり、5年前に代表をお引き受けし、現在に至っております。

#### ●小冊子の紹介と今後の企画日程

現在会員数は40名、市内のボランティア団体では稀にみる毎年増加している団体です。

幼稚園・こども園・保育所（園）情報交換会は6/12（金）開催です。

子育て応援まつりは12/13（日）です。今年は20回目を迎える記念の年です。

子ども食堂は市内に4団体。対象者が限定されているものからどなたでも利用できるものまで色々なタイプがあります。食支援や孤食を防止する役割も担っています。子どもの居場所は、放課後のたまり場や長期休み中にはみんなで宿題の時間、食の提供、大人の見守りなどもあり、安心して過ごせる空間を提供します。

#### ●当団体の強み

一つ目は、「民と官の連携」です。

こども支援課、社会福祉協議会と共同で毎月定例会を行い情報共有しています。気になるご家庭があった場合には、適切な関係機関へとつなぐ役割も担っています。

二つ目は、「団体としての強み」です。

当団体は歴史も活動実績もあり、会員数も多く、助成金申請にチャレンジしやすい。今回発行した小冊子も助成金を活用しました。また、皆さん様々な活動をしているので、マンパワーを活かし協力体制を図れるといった強みがあります。

#### ●最後に

私達も今まで地域の方々に気にかけていただき、声をかけてもらい子育てしてきたことを実感しています。子育て支援ねっとわーくの会員が地域のあちこちにおります。どこかで心地よくつながってくれる機会がもたら幸いです。私たちはこれからも子育て支援に関する情報共有を進めるとともに、会員同士の結束力を高めてまいります。また、「つながり」を大切にしながら保護者や子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでまいります。

### 幸手子育て支援ねっとわーく立花美香 様

幸手子育てねっとわーくに参加したきっかけは、みんなママというママの笑顔はみんなの笑顔をモットーに活動しているグループがあり、みんなで宣伝活動もしたいね！と話していて、幸手市での子育てに関われるなら！と参加しました。

現在は毎月の会議に参加し、年に1回開催される子育て応援まつりでは、リボン作りのワークショップを担当させていただいています。

会議に参加して感じるのは、幅広い年齢層の方々が幸手の子どもたちのことを真剣に考えているということ です。とてもあたたかく、支え合いのある街だと感じています。

また、ねっとわーくに参加したことで知り合いも増え、子どもたちの成長を一緒に見守ってもらえる環境ができました。

「一人で子育てしているのではなく、みんなに支えられている」そんな安心感を日々感じています。

今後、幸手市がさらに子育てしやすい街になっていくことを願っています。

現在は、娘のためのリボンヘアゴム作りが高じてハンドメイド雑貨屋さんを始めることになり、ハンドメイド雑貨と駄菓子のお店「Dream Land」を、中丁目のしあわせのえきプラスをお借りして営業しています。今年の5月で4年目にはいります。

「大人も子どもも楽しめる」をコンセプトに、世界にひとつだけのハンドメイド作品を販売しています。懐かしくて美味しい駄菓子も豊富に取り揃えていますので、お気に入りを見つけにぜひお立ち寄りください。

また、ハンドメイド店の運営に加え、「幸手ハッピー-mama イベント」としてイベントの主催や、さちプロ代表の半村さんのもとで、幸手駅フリーマーケット、幸手市民まつり、幸手桜まつりなどで現地担当や、出店者さんの募集ややりとりなどのお仕事もさせていただいております。

## 幸手子育て支援ねっとわーく 横山明子 様

作業療法士、ヨガインストラクター 秋田県能代市出身 幸手市在住 10年

ねっとわーくに参加し始めたきっかけ

ヨガの活動を始めた頃、ママラボのメンバーからの紹介で会議に参加しました。自分自身が他県から来て子育てをしていたため、仲間づくりや自分自身の活動を広めていきたい思いもあり参加しました。

現在どんな役割をしているか

前年度は幸手子育て支援ねっとわーくInstagram担当、応援まつり会計を担当していました。今年度は子育て応援まつり実行委員長を担当する予定です。

自身の活動の紹介、伝えたい事

5年生女兒の子育て中です。ヨガインストラクターと作業療法士としての仕事を行っています。ヨガでは「健康なからだ作り」をテーマに、出張・訪問形式のレッスンを開催しています。作業療法士としては「へやすぽ」という会社でオンラインの運動教室のコーチ、不定期でヨガの講座講師や親子イベントの開催なども行っています。

ヨガを始めたきっかけが、産後の自分自身の体をケアする事でした。ヨガは無理なく続けられて、自分の体もすごく変わった実感がありました。子育てをしてみてもママが元気になっていることが家族円満の秘訣だ！と思い、ヨガを通してママ達を健康にしたい！という想いからインストラクターとしての活動を始めました。自分自身も楽しく活動をしたいと思い、自分も周りも楽しめるイベントも開催しました。「ママと子供が笑顔で過ごせる時間」をテーマに、子どもは楽しんで、ママは癒されるイベントを行いました。

出産前は、作業療法士として、都内の病院でのリハビリの仕事をしていました。

こどもから大人までたくさんの方を担当していく中で、大人に関しては病気になる前に予防的に何かできる事がある、こどもは受け皿が少なく、リハビリを受けたくても受けられないこども達がたくさんいる事を感じました。病院の中でのリハビリだけではなく、もっと多くの方たちが自分自身で体をケアできたり、健康や体を作る事につながる習慣をつけられたりしたら、と考えるようになりました。それが今ヨガを皆さんにお伝えする理由の一つでもあります。また、今後チャレンジしていきたい事としてはこども達へ向けたヨガや運動教室です。最近の子供たちを見ていて、発達に凸凹を持った子供達や発達に問題を抱えている子供達が増えてきているように感じています。うまく環境に適應できなかったり、それが不登校や学校の行き渋りに繋がったりする事実もあるようです。また、子ども達の体力が落ちてきていることも問題になってきており、30年前の5歳と今の10歳が同じ体力と言われています。暑さによる外遊びの減少や時間に追われるタイトなスケジュール、インターネット機器の発達による遊び方の変化など様々な要因が関係していると考えられます。現在作業療法士として、オンラインの中で、子供達の体の土台作りをしていく運動教室のコーチとしての仕事をしています。地域の子供達へも、ヨガや体を使った遊びを通して、体や心の土台を強くするための「からだ作り」のレッスンを提供していきたいと考えています。

引き続き大人の体のケアをする、「年齢を重ねても元気な体作り！」「健康な体作り！」のためのレッスンも展開していきたい。

幼稚園や小学校、子ども達が集まるコミュニティ、または大人の方向けでも、ヨガや運動をお届けできる機会や必要としているお知り合いの方、興味のある方がいれば、ぜひお声がけ下さい。多くの子供達、地域の方に届けていきたいです。

今子育て中に感じる事や望むこと ママラボや子育てねっとわーくに参加して、地域とのつながりの大切さを感じています。こどもが小さいころから知ってくれているママやねっとわーくの会員さんなど、家族以外から、「大きくなったね」と声をかけてもらえたり、成長を見守ってくれる方いることはとても嬉しいし、心強いです。自分の近所や学区以外にも市内に知り合いがたくさんいることで、知らなかった情報が入ってきたり、何かあった時のつながりや居場所がひろがっている安心感があります。このような活動やコミュニティを大切にしていきたいと感じていますし、同じ子育て世代の方にも、自分やこどものためにも地域とのつながりを持つ機会を大切にしてほしいなと感じています。